

保育施設は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団での発症や流行をできるだけ防ぐことはもちろん、一人一人の子どもが快適に生活できる事が大切です。下記の「登園の目安」を参考に、医師の診断による登園許可証明書(医師記入)の提出をお願いします。なお、保育園での集団生活に適應できる状態に回復してから登園するようご配慮下さい。

注意：登園後、体調不良が認められた場合、早退いただくこともあります。

登園許可証明書(医師記入用)

提出日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

保育園・こども園 _____

組 _____ 氏名 _____

該当に○	疾患名	該当に○	疾患名
	百日咳		流行性角結膜炎（はやり目）
	麻疹(はしか)		急性出血性結膜炎
	風疹(三日ばしか)		腸管出血性大腸菌感染症（O-157・O-26等）
	流行性耳下腺炎(おたふく)		侵襲性髄膜炎菌感染症(髄膜炎菌性髄膜炎)
	水痘(みずぼうそう)		
	結核		
	咽頭結膜熱(プール熱)・アデノウイルス感染症		

※これらの病気にかかり症状が重い時、その時の発生や流行の大きさによって、登園停止が望ましい場合等は保護者へ説明をお願いします。

上記の疾患で(発症日) _____ 年 _____ 月 _____ 日から療養中のところ、現在症状が軽快し他児への感染の恐れがないと判断したので、_____ 年 _____ 月 _____ 日より登園して良いことを証明します。

* 登園後の注意点

[_____]

証明日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

医療機関名 _____

医師名 _____

感染症について ※下記以外にも感染症の疾患があります

病名	主な症状	潜伏期間	登園の目安	
百日咳	特有な咳、特に夜間に多くヒューヒューという呼吸音	7～10日	特有な咳が消失している。 または適正な抗菌剤による5日間の治療が終了していること。	
麻疹(はしか)	高熱、結膜炎症状、目やに 口の中に白いぶつぶつ 発疹は赤みが強く盛り上がる	10～12日	解熱後3日を経過していること。	※妊婦さん注意 妊婦さん重症化、 流産・早産の可能性
風疹(三日ばしか)	発熱、発疹、リンパ節腫脹	14～21日	発疹が消失していること。	※妊婦さん注意 先天性異常
流行性耳下腺炎(おたふく)	発熱(1～6日続く) 耳下腺の腫れと痛み	14～24日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日を経過し、かつ全身状態が良好になっていること。	
水痘(みずぼうそう)	発熱とともに発疹 発疹は水ぶくれからかさぶた	11～21日	すべての発疹が痂皮(かさぶた)化していること。 帯状疱疹もこれに準ずる。空気感染	
咽頭結膜熱(プール熱) アデノウイルス感染症	38～39度の高熱が5日前後、 喉の炎症、結膜炎(目の充血等)	5～7日	発熱・咽頭発赤・眼の充血が消失してから2日を経過するまで。	
結核	咳、痰、血痰、発熱、 だるさ、体重減少	2年以内	医師により感染の恐れがなくなったと認められるまで。	
流行性角結膜炎(はやり目)	瞼の腫れ、目やに、涙、 充血、まぶしい	5～12日	結膜炎の症状が消失していること。	便中に2～4週程度 ウイルス排出※①
急性出血性結膜炎	強い目の痛み、まぶしい、異物感、 結膜充血・出血、瞼の腫れ	24時間	医師により感染の恐れがないと認められていること。	
腸管出血性大腸菌感染症(O-157・O-26等)	激しい腹痛、頻回の水様便、 血便、発熱は軽度	3～8日	医師により感染の恐れがないと認められていること。	
侵襲性髄膜炎菌感染症(髄膜炎菌性髄膜炎)	頭痛、発熱、痙攣	2～4日	医師により感染の恐れがないと認められていること。	

※①アルコールが無効なウイルスのため、石鹸でよく手を洗い消毒は次亜塩素酸ナトリウムが有効。

保育施設は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団での発症や流行をできるだけ防ぐことはもちろん、一人一人の子どもが快適に生活できる事が大切です。下記の「登園の目安」を参考に、登園届(保護者記入)の提出をお願いします。なお、保育園での集団生活に適應できる状態に回復してから登園するようご配慮下さい。

注意：登園後、体調不良が認められた場合、早退いただくこともあります。

登園届(保護者記入)

保育園・こども園 _____ 組 _____ 氏名 _____

該当に○	疾患名	該当に○	疾患名	発症日
	インフルエンザ (A ・ B)		伝染性紅斑(りんご病)	月 日
	発症日： 月 日		突発性発疹	月 日
	解熱日： 月 日		伝染性膿痂疹(とびひ)	月 日
	新型コロナウイルス感染症		マイコプラズマ感染症	月 日
	発症日： 月 日		手足口病	月 日
	症状軽快日： 月 日		ヘルパンギーナ	月 日
	溶連菌感染症		ウイルス性胃腸炎/胃腸炎 胃腸風邪(お腹の風邪)	月 日
	発症日： 月 日		RSウイルス感染症	月 日
	抗生剤内服開始日： 月 日 午前/午後 時		帯状疱疹	月 日
	その他(アタマジラミの場合は駆除日記載)			

(受診日) ____月 ____日(医療機関名) _____において上記診断されました。

規定の期間の経過と症状が回復し、集団生活に支障がない状態になりましたので登園します。

又、不明点については、園から医療機関に問い合わせる事を承いたします。

(医師から言われた登園可能日) _____年 ____月 ____日

(提出日) _____年 ____月 ____日 保護者氏名 _____

感染症について※下記以外にも感染症の疾患があります

病名	主な症状	潜伏期間	登園の目安	
			発症後5日を経過し、かつ解熱してから(平熱になってから)3日を経過していること。	発症日・解熱日・症状軽快日を0日とし、翌日から1日、2日・・・
インフルエンザ	発熱、だるさ、関節痛、喉の痛み	1～3日	発症後5日を経過し、かつ解熱してから(平熱になってから)3日を経過していること。	発症日・解熱日・症状軽快日を0日とし、翌日から1日、2日・・・
新型コロナ	発熱、咳、だるさ、頭痛、下痢、喉の痛み結膜炎、嗅覚・味覚障害	約5日間、 最長14日間 中央値が約3日	発症後5日を経過し、かつ症状軽快後※② 24時間経過していること。 ※無症状陽性の場合は、検体採取日を0日とする。	発症日・解熱日・症状軽快日を0日とし、翌日から1日、2日・・・
溶連菌感染症	発熱、喉の赤み・痛み、莓舌、点状発疹	2～5日	抗菌薬内服後、24～48時間経過していること。	
ウイルス性胃腸炎 (ノロ・ロタ・アデノ等) 胃腸風邪(お腹の風邪)	発熱、嘔吐、下痢 下痢は黄色より白色調 (特にロタウイルス)	ノロウイルス 12～48時間 ロタウイルス1～3日	嘔吐、下痢等症状が治まり※④ 普段の食事がとれること。 全身状態が良いこと。※③	急性期が感染力強い 便中に2～4週程度 ウイルス排出※①
手足口病	水をもった発疹が、手のひら・足の甲や裏・口の中にできるのが特徴だが、手や足全体にもでる発熱は軽度	3～5日	発熱や口腔内と手足に出た水疱(水ぶくれ)・潰瘍の影響がなく普段の食事がとれること。 歩行等に問題がない程度の発疹になっている。	便中に2～4週程度 ウイルス排出※①
伝染性膿痂疹 (とびひ)	水ぶくれや、かさぶたを引っ掻いたりかきむしる事で全身に広がる	2～10日	ガーゼ等で覆ってあれば通園が可能。 覆えない場合は、ジクジクした状態が治り患部が乾燥するまで。	
伝染性紅斑 (りんご病)	微熱や風邪症状後、頬が赤くなったり、手足に網目状の赤み(発疹)がでてる	10～20日	全身状態が良いこと。※③ 発疹が出た頃には感染力は軽減している。	※妊婦さん注意 妊娠初期流産の可能性
RSウイルス感染症	発熱、鼻水、咳、喘鳴、呼吸困難、肺炎	4～6日	呼吸器症状が消失し、 全身状態が良いこと。※③	連続した咳や喘鳴(ゼーゼー、ヒューヒュー)等の辛そうな呼吸がないこと。 普段より呼吸が多い・顔色が悪い等の
マイコプラズマ 感染症	熱、咳は徐々に激しくなる 解熱後も咳が長期間続く	2～3週	発熱や激しい咳が治まっていること。	
ヘルパンギーナ	高熱、喉の痛み 喉の奥に水ぶくれ	2～4日	発熱や口腔内の水疱(水ぶくれ)・潰瘍の影響がなく普段の食事がとれること。	便中に2～4週程度 ウイルス排出※①
単純ヘルペス感染症	口唇ヘルペス 口周囲の水ぶくれ、痛み	2日～2週間	発熱がなく、よだれが止まり、普通の食事ができること。	
突発性発疹	3日程度高熱が続き、解熱と共に細かい赤い湿疹で、少し盛り上がっているのが特徴	約10日	解熱し、機嫌がよく全身状態が良いこと。※③	
アタマジラミ	毛の根元付近に、毛に固く附着している米粒のようなものが卵で、フケのようにも見えるが、つまんでも簡単に動かない。頭の痒み	10～14日 卵は約7日で 孵化する	駆除を開始していること。	
A・B型肝炎	A型:便中に排出されてウイルスで汚染された水や食品を介して感染 B型:血液や体液、母子からの感染	A型:約28日 B型:約90日	急性肝炎の場合、症状が消失し、全身状態が良いこと。※③	
帯状疱疹	数日～10日間ほど神経痛があり、その後、身体の左右どちらか一方の神経に沿って帯状に赤い発疹が出現し、その後水ぶくれが出現	2週間	水痘(みずぼうそう)と同じウイルスが原因で起こるすべての発疹が痂皮(かさぶた)化していること。 接触感染	※水ぼうそうに感染したことがない乳幼児や水ぼうそうの予防接種をしていない子どもにも接触するのは避けたほうがよい

※①アルコールが無効なウイルスのため、石鹼でよく手を洗い消毒は次亜塩素酸ナトリウムが有効。

※②症状軽快とは：解熱剤を使用せずに解熱し、かつ、咳等の呼吸状態が改善傾向にあること。

※③全身状態が良いとは：水分が取れる、食事が食べれる、日常生活が元気に送れる状態のこと。

(機嫌が悪い、水分が取れない、食事が食べれない、元気がない、すぐ横になる等の場合は全身状態が良いとは言えません。)

※④嘔吐・下痢が治まるとは：登園前24時間に嘔吐・下痢がない、吐き気や腹痛がない。